

京都地域クラブ対抗戦水泳競技大会 2次要項

日本スイミングクラブ協会京都地域事業企画委員会

1. 新型コロナウイルス、インフルエンザ等感染拡大予防対策について

- (1) 当日体調がすぐれない場合は来館しないこと。
- (2) 会場プールサイド内および控え場所への入場は出場する選手、引率責任者および学校が認めたコーチ、競技役員のみ許可する。
- (3) 保護者等一般来場者の入場及び応援は2階観客席のみ認める。

2. 競技について

- (1) 本競技会は、2025年度公益財団法人日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 全競技、8レーンで行う。
- (3) 招集は、競技開始15分前から行う。招集所で水着、テーピング、商業ロゴマークの確認を行う。
- (4) 競技を棄権する場合は、所定の用紙(各クラブで京都水泳協会ホームページよりダウンロード)に記入し、当日競技開始までに大会本部に届け出ること。指定時刻以降は、棄権料3,000円を添えて棄権届を提出すること。なお、無断で棄権した場合は、3,000円を別途徴収する。
- (5) 本大会はレーン紹介を行わない。
- (6) 50m～200mの自由形・平泳ぎ・バタフライ・個人メドレー各種目は、オーバーザトップ方式を採用する。
- (7) 背泳ぎ、メドレーリレーにおいて、バックストロークレッジを使用する。
- (8) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (9) 競技成立後は、自レーンより退水すること。
- (10) 本大会は SEIKO システムを使用する。詳細については、「9. SEIKO システムについて」を参照すること。

3. 表彰について

- (1) 本大会での表彰式は、競技終了後に団体・優秀選手表彰を行う。ただし、日本、日本高校、日本中学、日本学童の各短水路記録を突破した場合は、別途表彰式を実施する。
- (2) 各競技6位までの入賞者には賞状、3位までの入賞者には副賞のメダルを授与する。
- (3) 賞状・副賞の受け取りは、各日全競技終了後、大会本部後方(ウォーター 슬라이ダー付近)で行う。

4. 全体スケジュール

- (1) 全体の競技予定時間は以下の通りとする。

区分	出場選手 入場時間	W-up	公式スタート (1～4レーン)	競技 開始時刻	競技終了 予定時刻	閉門時刻 (予定)
1班	7時20分	7時30分～8時20分	7時50分	9時30分	18時16分	19時15分
2班	7時40分	8時25分～9時15分	8時45分			

- ① ウォーミングアップは2班に分けて行う。
- ② 1・2班の入れ替えを行う(5分間)。1班は8時20分に全員プールよりあがること。
- ③ 場所取りは全チームを対象として行う。場所取り入場後、1班はすみやかに開場(選手入場)する。
- ④ 2班は1班ウォーミングアップ開始後の入場とする。
- ⑤ 各班の割り当ては、以下の通りとする。

1班	2班
<W-up> 7:30～8:20(公式スタート7:50～)	<W-up> 8:25～9:15(公式スタート8:45～)
京都踏水会、長岡S・S、アクオン、スイトピア、ACE、星の子SS、アテイン京都、セントラル太秦、京都FSC、京都イリアス、京都文教高、京都外大西高、山城高校、京都両洋高校、西京高校、京都文教中、洛南高校	城陽SS、コナミ伏見、くずは男山、HOS OGURA、コパンサタウン、ルネサンス山科、コナミ八幡、サンスポーツ、コパン宇治、アイエム舞鶴、ビートまいづる、イトマン京都、PAO LAB

- (2) 競技役員主任ミーティング、控え場所の場所取り入場、リレー種目のリレーオーダー提出締切時刻はそれぞれ以下の通りとする。尚、オーダー用紙はホームページよりダウンロードし各クラブで準備すること

場所取り入場 会場準備	競技役員 主任会議	競技役員 全体会議	メドレーリレー オーダー締切	フリーリレー オーダー締切
7 時 00 分	8 時 20 分	8 時 40 分	8 時 45 分	13 時 00 分

5. プールの使用について

(1) 25m短水路プール

- ① 水深は1.4mに設定する。
- ② 練習は競技開始15分前までとする。
- ③ 1レーンは、常時ダッシュレーンとする。ただし、スタート側からの一方通行とする。公式スタート練習は、1～4レーンにて実施する(人数により、順次5レーン以上を増設する場合がある)。
- ④ ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
- ⑤ 公式スタート練習は、公式スタート開始予定時刻より30分間とする。順番待ちの際、会話は控えること。
- ⑥ 各レーンのスタート台右側から入水せず、左側より足から入水すること。

6. 会場の使用について

(1) 選手控え所は、2階エントランス(枠内)、1階フィットネスルーム、1階エレベーター前とする。

なお、控え場所については以下の通り指定する。

1階エレベーター前	1階スタジオ	2階エントランス右側 (長水路プール入口側)	2階エントランス左側 (エレベーター・自販機前)
アクオン、スイトピア、ACE 計3チーム	京都踏水会、長岡 S・S、 コナミ伏見、くずは男山、 ルネサンス山科、コナミ八幡 計6チーム	城陽SS、HOS OGURA、星の子 SS、 コパンサンタウン、アテイン京都、サンスポーツ、 コパン宇治、アイエム舞鶴、ビートまいづる、 セントラル太秦、京都 FSC、 京都イリアス 計12チーム	京都文教高、京都外大西高、 山城高校、京都両洋高校、 西京高校、京都文教中、 洛南高校、イトマン京都、 PAO LAB 計9チーム

※会場準備と場所取りのため各クラブ1名は7時00分に2F インフォメーション前に集合。各チーム選手控え場所の準備をした後、会場準備を行う。なお、大会終了後の後片付けについても各クラブ1名は残ること。

- (2) 選手のプールサイドでの応援は8レーン側のみ可。1レーン側にコーチ席を設ける。
- (3) プールサイドは、靴底が白い上履き(シューズ・サンダル等)に限り使用を許可する。
- (4) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を遵守すること。
- (5) 選手・付添エリアには、一般は立ち入ることができない。
- (6) 更衣室のロッカーの使用はできない。控え場所としての使用及び飲食は禁止する。
- (7) 更衣室の荷物は、競技終了後は必ず持ち帰ること。置き荷物は、忘れ物として扱う。
- (8) 会場設置のコンセントの使用を禁止する。使用が判明した場合、該当使用機材を没収する。
- (9) 会場のゴミ箱を使用せず、各自持ち帰って処理すること。
- (10) 大会終了後、使用した控所の清掃にご協力ください。なお、全体の後片付けにあたっていないチームは、自団体控所の清掃終了後、すみやかに退出すること。
- (11) 大会終了後、館外でのミーティングは禁止する。
- (12) 京都アクアリーナの営業開始時間(9:00)より前の、1階フロアへの立ち入りとその階のトイレの使用並びにエレベーターの使用を禁止する。同時間までのトイレは、選手はサブプールにあるトイレを使用すること。

7. 引率責任者、競技役員への連絡事項

- (1) 会場準備のための館内入場は6時30分以降、競技役員用駐車場への入場は、6時20分以降とする。それ以前に周辺道路で待機しないこと。
- (2) 場所の関係上、車両台数に制限があるため、駐車許可証を提示した車両のみ許可する。駐車許可証を掲示しない車両は駐車を認めない。

※駐車許可証は京都SC協会、京都水泳協会、京都府中・高体連水泳専門部が発行する本年度有効の許可証とする。なお、台数制限があるため、入り口にて担当者が不許可とする場合もあります。

※許可対象は競技役員のため、チーム引率車両に対する許可は行わない。

- (3) 台数制限があるため、乗り合うか、可能な限り公共交通機関を利用すること。

- (4) 公式掲示板は設置しない。京都水泳協会に掲載する結果掲載サイトで確認のこと。
- (5) プログラムは、2階受付にて当日1,000円にて販売する。
- (6) 盗難防止のため、貴重品の保管については、各選手・監督の責任において管理すること。会場におけるトラブルが発生した場合、当該者の関係所属団体先を確認の上、当該引率責任者による事後対応を行うこと。
- (7) 館内での喫煙は禁止する。

8. 保護者等への注意事項の連絡について

- (1) 出場団体の責任者は、以下の点を事前に保護者等に連絡すること

※特に入場に関してのトラブルが多く見受けられるため、各クラブ、連絡の徹底するように

- ① 選手送迎に関する「京都アクアリーナを使用する競技会での送迎等について」を事前に確認すること。

- ② 当日、自動車等で会場周辺に駐車して待機しないこと。

京都アクアリーナ周辺住民より苦情が報告された場合、競技を止めることもある。

- ③ 車台数に制限があるため、公共交通機関を利用しての来場を促すこと。京都アクアリーナ周辺に違法駐車される事例が報告されているため、これが判明した場合、競技を止めることもある。

- ④ 保護者等の入場方法は、**8:30**より2階正面入口(阪急西京極駅方面のスロープ側)から行う。

- ⑤ 入場に当たっては、係員の指示・誘導に従って先着順に入場する。

- ⑥ ハンカチ、手荷物などでの席の場所取りは禁止とする(立ち見ゾーンを含む)。

- ⑦ 危険防止のため、2階観客席前方の透明フェンスにもたれかかっている観戦を禁止すること。

- (2) 撮影にあたって

- ① 本大会は、撮影時には撮影許可ビブスの着用が必要となります。撮影許可ビブスは登録団体への販売のみとし、撮影を希望する個人への販売は行いません。撮影を希望される場合は、出場するチーム代表者に問い合わせをしてください。

※ビブスを手で持っていたり、カバンに入れているだけではなく外見でわかるように着用して撮影をしてください。

- ② 当日のみ有効の撮影許可ビ布斯(貸し出し用)は、発行しません。

- ③ 撮影対象が競技会方針と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求めることとする。事案によっては、警察に引き継ぐこともある。

- ④ 不審と思われる行為を受けたり、見かけられたりした場合は、近くの競技役員まで申し出て下さい。

近年、各種競技大会において日本水泳連盟や京都水泳協会の目的を逸脱した営利目的・わいせつ目的等によるビデオ・写真などの撮影が行われ、インターネット・雑誌その他の媒体に掲載、販売される事態が散見されております。京都水泳協会としましては、競技大会の円滑な運営と選手保護・育成のため、撮影に関する一定のルールを設けております。(以下、一部抜粋)

9. SEIKO システムについて

- (1) SEIKO 社の全自動計時システムをタッチ板・スタート台等で使用する。

- (2) スタート台の斜角度は10° とする。

- (3) スタート台にはスターティングブロックを設置する。本大会はスターティングブロックの調整を許可する。なお使用にあたっては各自の責任において調整すること。

- (4) スターティングブロック部分の固定は確実にすること。固定せずに使用して破損した場合は、実費相当額を負担すること。

- (5) 本大会は、バックストロークレッジを使用する。使用しない場合は、各レーンの競技役員に申し出ること。

10. その他

- (1) 忘れ物の問い合わせについては、京都地域事業企画委員会まで。※個人での問い合わせは受付不可
メールアドレス jscakyotoswim@gmail.com ※保管は大会終了後2週間までとする。

- (2) 本大会では、超速システムを運用する。

- (3) リアルタイム動画の配信はおこなわない。

上記項目についての選手への事前指導、送迎の保護者の方への事前連絡について、各チームの代表者・引率責任者・担当者が責任をもって周知徹底すること。

なお、使用状態が悪い場合、今後の会場使用ができなくなることもある。十分に注意すること。

以 上

京都アクアリーナを使用する競技会での送迎等について

京都水泳協会

京都アクアリーナを使用する競技会等について、開場前および大会終了後での車両による送迎について、周辺住民の方々へ迷惑となるような行為が確認されています。

京都アクアリーナ周辺は住宅地であり、生活上での支障となるケースもあります。
このため、以下のような形で対応頂くよう、関係者への周知徹底をお願いします。

<留意事項>

- ・ 京都アクアリーナ周辺の一般道路（図の赤い部分）では、駐停車は禁止されています。
ここでの大会関係者の送迎（朝・夕方）はおやめください。
- ・ 駐車場の開場前、大会終了予定時間に、路上で長時間駐停車をしないでください。
※警察による交通取り締まりについて、本協会は一切の責任を負いません。
- ・ 朝、開場するまでの時間帯は外で大声を出す、走り回る等の行為はやめてください。

